

(令和3年3月15日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >
(財務体質・その1-はじめに)

「決算短信を読む」では、適時開示情報を利用するにあたってのポイントを解説しました。フローの収益の把握が中心でしたが、このコーナーでは企業のフローの収益を上げているバックグラウンド=財務体質をみて行きたいと思います。

株主の視点です。少し理屈っぽく見て行きましょう。

- ・株主が出資した資金は資本金
 - ・資本金などを使って製品を作り販売したなど得た利益を内部留保したのは利益剰余金。
 - ・各期に利益剰余金を増減させるのは当期純利益
 - ・資本準備金は、増資を行った際に調達した額から資本金に組み入れた額を超過する部分。
 - ・資本金と利益剰余金と資本準備金を合わせたものが株主資本(自己資本)と言います。
- 大まかですが、これが貸借対照表の資本の部：株主資本となります。

ということから、株主からみれば、自分たちの持分に対して、每期どれだけの利益を上げたか…が重要。これを自己資本当期純利益率(=ROE: Return On Equity)と呼んでいます。言い換えれば、株主資本をどれだけ増加させるかの指標となります。

(簡略化した貸借対照表と損益計算書)

(貸借対照表)			(損益計算書)	
資産の部	負債の部		売上高	
流動資産	流動負債		売上原価	
手元流動性資産	買掛金		売上総利益	
売掛債権	短期借入金		販売費及び一般管理費	
棚卸資産			営業利益	
その他	固定負債		営業外収益	
貸倒引当金	長期借入金		営業外費用	
固定資産	負債合計		経常利益	
有形固定資産	資本の部		特別利益	
無形固定資産	株主資本		特別損失	
投資その他	資本金		税金等調整前当期純利益	
繰延資産	資本準備金		法人税等	
	利益剰余金	<.....	当期純利益	
資産合計	負債・資本合計			

(続く)